邑楽町告示第185号

平成26年第4回邑楽町議会定例会を次のとおり招集する。

平成26年12月3日

邑楽町長 金子正一

1. 期 日 平成26年12月8日

2. 場 所 邑楽町役場 議 場

○応招・不応招議員

○応招議員（13名）

1番	塩井早苗	議員	2番	原義裕	議員
3番	松村潤	議員	5番	神谷長平	議員
6番	半田晴	議員	7番	坂井孝次	議員
8番	大野貞夫	議員	9番	田部井健二	議員
10番	小沢泰治	議員	11番	岩崎律夫	議員
12番	小島幸典	議員	13番	立沢稔夫	議員
14番	本間恵治	議員			

○不応招議員（1名）

15番	細谷博之	議員

平成26年第4回邑楽町議会定例会議事日程第1号

平成26年12月8日（月曜日） 午前10時開会

邑楽町議会議場

- 第 1 会議録署名議員の指名
- 第 2 会期の決定
- 第 3 承認第 4号 専決処分の承認を求めることについて
- 第 4 議案第50号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散について
- 第 5 議案第51号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う財産処分について
- 第 6 議案第52号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う事務の承継について
- 第 7 議案第53号 邑楽町情報公開条例の一部を改正する条例
- 第 8 議案第54号 邑楽町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- 第 9 議案第55号 邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する
条例
- 第10 議案第56号 邑楽町長、副町長、教育長等の諸給与支給条例の一部を改正する条例
- 第11 議案第57号 邑楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 第12 議案第58号 邑楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例
- 第13 議案第59号 邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例
- 第14 議案第60号 邑楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例
- 第15 議案第61号 邑楽町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例
- 第16 議案第62号 指定管理者の指定について
- 第17 議案第63号 平成26年度邑楽町一般会計補正予算
- 第18 議案第64号 平成26年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算
- 第19 議案第65号 平成26年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算
- 第20 議案第66号 平成26年度邑楽町介護保険特別会計補正予算
- 第21 議案第67号 平成26年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算
- 第22 議案第68号 平成26年度邑楽町水道事業会計補正予算

○出席議員（13名）

1番	塩井早苗	議員	2番	原義裕	議員
3番	松村潤	議員	5番	神谷長平	議員
6番	半田晴	議員	7番	坂井孝次	議員
8番	大野貞夫	議員	9番	田部井健二	議員
10番	小沢泰治	議員	11番	岩崎律夫	議員
12番	小島幸典	議員	13番	立沢稔夫	議員
14番	本間恵治	議員			

○欠席議員（1名）

15番	細谷博之	議員

○地方自治法第121条により説明のため出席した者の職氏名

金子正一	町長
堀井隆	副町長
大竹喜代子	教育長
飯塚勝一	総務課長
橋本喜久雄	企画課長
諸井政行	税務課長
吉田紳二	住民課長
相場利夫	安全安心課長
河内登	健康福祉課長
多田哲夫	子ども支援課長
大拙一	農業振興課長 兼農業委員会 事務局長
半田実	商工振興課長
小島靖	都市建設課長
小島敏晴	会計管理者 兼会計課長
茂木一夫	水道課長
神山均	学校教育課長
半田康幸	生涯学習課長

○職務のため議場に参加した者の職氏名

小	倉	章	利	事	務	局	長
田	部	井	春	彦	書		記

◎開会及び開議の宣告

○本間恵治議長 ただいまから平成26年第4回邑楽町議会定例会を開会し、直ちに本日の会議を開きます。

[午前10時03分 開議]

◎諸般の報告

○本間恵治議長 日程に入る前に、諸般の報告をします。

監査委員から監査結果の報告がありましたので、写しをお手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

次に、今期定例会に説明員として出席通知がありましたので、写しをお手元に配付しておきましたから、ご了承願います。

本日の議事日程は、配付したとおりであります。

◎日程第1 会議録署名議員の指名

○本間恵治議長 日程第1、会議録署名議員の指名を行います。

会議録署名議員には、会議規則第124条の規定により、議長において田部井健二議員、小沢泰治議員を指名します。

◎日程第2 会期の決定

○本間恵治議長 日程第2、会期の決定を議題とします。

お諮りします。本定例会の会期は、本日から12日までの5日間としたいと思います。これにご異議ありませんか。

[「異議なし」と呼ぶ者あり]

○本間恵治議長 異議なしと認めます。

よって、会期は本日から12日までの5日間と決定しました。

◎日程第3 承認第4号 専決処分の承認を求めることについて

○本間恵治議長 日程第3、承認第4号 専決処分の承認を求めることについて議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

[金子正一町長登壇]

○金子正一町長 承認第4号 専決処分の承認を求めることについて、提案理由の説明を申し上げま

す。

平成26年度邑楽町一般会計補正予算（第4号）につきまして、去る11月21日衆議院が解散されたことにより、衆議院議員の総選挙を実施するための経費が必要となりましたので、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1,224万7,000円を追加し、予算の総額を89億2,211万3,000円とする補正予算を地方自治法第179条第1項の規定により、去る11月21日付で専決処分いたしました次第であります。

歳入については、県支出金1,224万7,000円の増額であり、歳出については総務費1,224万7,000円を増額するものであります。

よろしくご審議の上、ご承認賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより承認第4号 専決処分の承認を求めることについて採決します。

本案は原案のとおり承認することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、承認第4号は原案のとおり承認することに決定しました。

◎日程第4 議案第50号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散について

○本間恵治議長 日程第4、議案第50号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散について議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第50号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散について、提案理由の説明を申し上げます。

平成27年3月31日をもって東毛広域市町村圏振興整備組合が解散されるに当たり、地方自治法の規定により別紙のとおり関係市町が協議の上定めることについて、議会の議決を求めるものであり

ます。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第50号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第50号は原案のとおり可決されました。

◎日程第5 議案第51号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う財産処分について

○本間恵治議長 日程第5、議案第51号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う財産処分について議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第51号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う財産処分について、提案理由の説明を申し上げます。

平成27年3月31日をもって東毛広域市町村圏振興整備組合が解散されるに当たり、地方自治法の規定により財産処分に関して別紙のとおり関係市町が協議の上定めることについて、議会の議決を求めるものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第51号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う財産処分について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第51号は原案のとおり可決されました。

◎日程第6 議案第52号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う事務の承継について

○本間恵治議長 日程第6、議案第52号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う事務の承継について議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第52号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う事務の承継について、提案理由の説明を申し上げます。

平成27年3月31日をもって東毛広域市町村圏振興整備組合が解散されるに当たり、解散に伴う事務の承継に関し関係市町が協議の上定めることについて、組合同約第15条の規定により議会の議決を求めるものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第52号 東毛広域市町村圏振興整備組合の解散に伴う事務の承継について採決しま

す。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第52号は原案のとおり可決されました。

◎日程第7 議案第53号 邑楽町情報公開条例の一部を改正する条例

○本間恵治議長 日程第7、議案第53号 邑楽町情報公開条例の一部を改正する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第53号 邑楽町情報公開条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

独立行政法人通則法の一部を改正する法律が平成26年6月に公布され、平成27年4月1日から施行されることに伴い、特定独立行政法人にかわり行政執行法人が規定されることにより、当該部分を引用している条文の改正と文言の整理を行うため本条例の一部を改正いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第53号 邑楽町情報公開条例の一部を改正する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第53号は原案のとおり可決されました。

◎日程第8 議案第54号 邑楽町職員の給与に関する条例の一部を改正する条

例

○本間恵治議長 日程第8、議案第54号 邑楽町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第54号 邑楽町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の改正は、平成26年度の人事院勧告による国家公務員の給与改定等の取り扱いに準じて、必要な改正を行うものであります。

第1条では、通勤手当の額及び12月期の勤勉手当の支給率を引き上げるとともに、あわせて行政職給料表の改定を行い、平成26年4月に遡及して適用するものであります。

第2条では、期末勤勉手当の年間支給率100分の395を100分の15引き上げ100分の410とし、6月期と12月期の支給率を改正いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第54号 邑楽町職員の給与に関する条例の一部を改正する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第54号は原案のとおり可決されました。

◎日程第9 議案第55号 邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

○本間恵治議長 日程第9、議案第55号 邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第55号 邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

ただいまご決定賜りました本町職員の期末勤勉手当に準じまして、邑楽町議会の議員の12月期の期末手当100分の205を100分の15引き上げ100分の220とし、年間の支給率を100分の395から100分の15引き上げて100分の410といたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第55号 邑楽町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第55号は原案のとおり可決されました。

◎日程第10 議案第56号 邑楽町長、副町長、教育長等の諸給与支給条例の一部を改正する条例

○本間恵治議長 日程第10、議案第56号 邑楽町長、副町長、教育長等の諸給与支給条例の一部を改正する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第56号 邑楽町長、副町長、教育長等の諸給与支給条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

ただいまご決定賜りました本町職員の期末勤勉手当に準じまして、邑楽町長、副町長、教育長の12月期の期末手当100分の205を100分の15引き上げ100分の220とし、年間の支給率100分の395を100分の15引き上げて100分の410といたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 今回のベースアップで、三役の1年間のベースアップの金額は幾らぐらいになるのでしょうか。

それで、議員は、約12年間で20人のところを14人になっているのです。6人削減されていて、年間約2,658万8,000円の減額に寄与していると数字では出ているのですけれども、そういう流れの中で、もう3月当初予算になります。当初予算の中では、今まで前横浜市長の中田さんだとか、名古屋市の河村さんだとか、大阪市の橋下氏とか、あと夕張市では問題になっていますけれども、若い市長が30万円弱で仕事をやってくれているのです。そういう中で、また近隣では千代田町では平成22年には30%オフの議会での提案をしています。そういう流れの中で、本当に50歳以上の労働者というのは大変な生活を強いられています。そういうことを考えた場合、ここで上げてもいいですけれども、町長、来年の3月の当初予算の削減等の気持ち、また検討する余地があるかないか、その辺を質疑として質問します。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 今年度も当初予算の中で減額をした提案をさせていただいて、承認をいただきました。来年度どうするのかという考え方のご質問ですが、今までの状況を考えた中で、十分議員のほうにご理解いただけるような形で、やはり減額も考えていきたいというようなことで、数字的にはまだ現在のところ考えておりませんが、そのように考えていきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 非常に前向きな回答をいただいたので、本当に町民のためにも、またこれからの子育て支援、子育てをする人たちの支援というのは、これは町長、私の心の中ではどんどんこれから進めていけるのではないかなと。そういう流れの中では、本当に夏の暑い中、冬のこの寒い中、一般の人たちが本当に身を削る思いをして仕事をしています。それと子育ての人もそうです。本当におっばいからおむつから、若いお母さんが安い、はっきり言ってパート、臨時職員、そういう中で働いて生活しています。そういうことを考えると、功成り名を遂げた人は、もっとちょうだい、もっとちょうだいではなくて、ぜひどうか使ってくださいと、そういう社会に邑楽町から発信する。そういうことによって、町長、副町長、教育長がすばらしい人間であるということを若い人たちが感じれば、その人たちが後についていきます。そういうことでひとつ、町の指導者としてやっていってもらう。

また、我々もそうです。我々議員もそうなのですけれども、ひとつ皆さんと力を合わせて、それで弱者が喜びを感じる、生きがいを感じる、そういう邑楽町をつくってあげれば良いと思いますけれども、その辺、福祉にいろいろ力を注いでくれている副町長のほうから答弁をできればもらいたいです。

○本間恵治議長 堀井副町長。

○堀井 隆副町長 答えいたします。

小島議員がおっしゃるとおり、アベノミクスで景気のほうは向上していると思われましても、まだまだ地方のほうにまで浸透してはおりません。そういった中で、子供を抱えた若いお母さんたち、あるいは高齢者たちの生活はよくなっているとは思えませんので、先ほど町長が答えたとおり、身を引き締めて、その辺も十分考えた中で、来年度予算についても編成していきたいというふうに思っております。

以上です。

○本間恵治議長 小島幸典議員。

○12番 小島幸典議員 本当にありがとうございます。

これは、やはり何といても少子高齢化ということはもう避けられないので、その辺のことを考えれば、やっぱり我々町にいる人たちのある程度、いつもいつも学校、そしてまた幼稚園、保育園を見ている我々が、先に立ってやってもらえれば良いと思います。

そういうことで、3月の予算については、非常に私も楽しみにしていますけれども、ひとつこの辺をよろしくお願ひしたいと思って、私の質疑を終わらせていただきます。

以上です。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑がないようですので、これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第56号 邑楽町長、副町長、教育長等の諸給与支給条例の一部を改正する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第56号は原案のとおり可決されました。

◎日程第11 議案第57号 呂楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する
基準を定める条例

○本間恵治議長 日程第11、議案第57号 呂楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第57号 呂楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について、提案理由の説明を申し上げます。

質の高い幼児の教育、保育の提供、保育の量の拡大や確保、地域の子ども・子育て支援の充実に目的とした子ども・子育て支援法が平成24年8月に公布され、平成27年4月1日から施行されることに伴い、子ども・子育て支援新制度における家庭的保育事業等の施設や事業の設備、運営などの基準を町条例で定める必要が生じたので、本条例を制定いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

なお、詳細につきましては子ども支援課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 多田子ども支援課長。

〔多田哲夫子ども支援課長登壇〕

○多田哲夫子ども支援課長 議案第57号 呂楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例について、補足説明を申し上げます。

家庭的保育事業等は、平成27年4月からスタートが予定されております。子ども・子育て支援新制度におきまして、市町村の認可事業として新たに創設された事業でございます。これに伴いまして、市町村で家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を条例で定めることが義務づけられました。新制度における家庭的保育事業は、原則として満3歳未満の保育を必要とする乳幼児を対象とした事業で、4分類に区分されております。

まず、条例第2章の家庭的保育事業は、定員5人以下で、保育者の居宅などで保育を行う事業でございます。

第3章の小規模保育事業は、定員6人から19人までの小規模な保育施設で保育を行う事業でございます。

第2節の小規模保育事業A型は、保育所の分園型を想定したものでございます。

第3節の小規模保育事業B型は、保育所分園型と家庭的保育事業の中間的なものでございます。

第4節の小規模保育事業C型は、定員6人から10人までの家庭的保育事業に近いものでございま

す。

第4章の居宅訪問型保育事業は、保育を必要とするこの居宅等において1対1を基本に保育を行う事業でございます。

第5章の事業所内保育事業は、企業が従業員を対象に保育を行っている事業所で、従業員以外の子供に保育を提供する場合に対象となる事業でございます。

これらの事業につきまして、それぞれ利用定員に関する基準、保育室等の面積基準、保育士の配置基準、設備に関する基準や運営に関する基本事項などを定めるものでございます。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 この件につきましては、全員協議会の中でも発言をさせていただきましたが、今町長の最初の説明の中にもありましたように、国のほうはこの保育事業に対しまして非常にこれから質の高い保育事業をやっていくというようなことを言っている中でこういうものを出してきたわけですが、私は考えますに、今までの保育事業のあり方からすれば、決してそれが向上してプラスになっていくというふうには考えておりませんで、むしろ今までの公的な機関として、いわゆる役場の窓口から全て始まっていたわけですが、それらが非常に大きく後退をしていくと。そして、1つには、いわゆる待機児童をなくしていくという名目のもとに、こういう今担当課長のほうから細かい説明があったわけですが、非常に複雑な問題になっております。

このことに対して、国のほうでこれはやってきているわけですから、これは町のほうとして条例を定めなければならないという立場であるのは、これは仕方のないことだというふうに思いますけれども、そここのところこういう法律が出てきた、こういう問題が出てきたことに対しての町長の基本的な考え方というものがもしあれば、お聞かせいただきたいというふうに思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 提案の理由でも申し上げましたが、まさに保育事業、この児童の保育をしていく、質を高めていくということが目的でもあります。

一番身近で関係している市町村が条例を定めて、そして子ども・子育て会議等の機関を通して、いかにしたら質の高い保育事業が子供たちに与えられるかということになるわけでもありますので、国で定めたということもありますが、やはり一番身近な市町村で定めて、そしてつぶさにそういった問題について対処できるような環境ができるのではないかと、そういうことを考えますと、私は町長の責任は重くなりますが、大変喜ばしいことではないかと、このように思っています。

○本間恵治議長 大野貞夫議員。

○8番 大野貞夫議員 私は、決して喜ばしいことではないと思います。

今町長も言われたように、これから私の責任は重くなると、これは合っています。これから大変

になると思います。これは、次の学童保育の問題にも関連するわけですが、この法律が出てくることによって、ほかの各自治体を見ますと、ほとんどこれという議論という議論もなしに、そのまま通っているというのが非常に多いわけです。そういう中で、やはりこれが、言うなればなし崩し的にどんどんそれが、私は余りいい方向に行かないのではないかという気がするわけです。

今後の問題として、やはりこの条例をつくる。たまたま呂楽町においては、子ども・子育て会議というものの中で、現場の人たちも直接参加をされ、そして執行部ともどもこの条例をつくって検討してきたという経過からしますと、非常にそこは私は大事なところだと思いますので、その辺をこれから質の低下を招かないようなことで、より一層注意深くやっていかなければならないのではないかという点で思います。

1つには、ただほかの条例からしますと、呂楽町においては、やはり保育士という資格を持った人でないとそれはだめなのですということを明確にされておりますから、非常にその辺は私は評価したいと思います。やっぱり今後の方向とすれば、特に少子化を迎えた今日、呂楽町は子供を安心して預けられるのだと、そういう町だというようなことをむしろほかの自治体にアピールできるような中で、この保育事業の運営というものに大いに力を発揮していただければというふうに思います。町長の考えをもう一度、一言いただきたいと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 まさに子育て環境を充実をしていく。そして、子供たちが安心して、そしてすばらしい保育事業が進められるように今後この条例を旨として努力をし、他町からも喜ばれるような、うらやましがられるような状況もつくっていく、そのように努力をしてまいりたいと、このように思います。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

塩井早苗議員。

○1番 塩井早苗議員 あした私は、一般質問でこのことについて触れさせていただきます。

その前に、この条例はつくらなくてはならないというような上からのお達しでございます。呂楽町がこの条例がしっかりとできて、それを運営する上でしっかりと保育ができるように、あしたまた一般質問はさせていただきます。

この流れとして、今この条例文を読ませていただきますと、美辞麗句ではあります。本当に必要なのは、その内容でございます。その辺の町長のお考えを聞かせてください。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 この条例は、この家庭的保育事業を行っていく上での設備、それから運営に関する基準、ある面では最低基準ということも言えるのだらうと思いますが、その基準を定めたものでもあります。したがって、この基準を上回るような、先ほどの質問者にお答えをいたしました。充実を図るようにこれから努めていきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 ほかにありますか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 ないようですので、質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第57号 呂楽町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第57号は原案のとおり可決されました。

◎日程第12 議案第58号 呂楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例

○本間恵治議長 日程第12、議案第58号 呂楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第58号 呂楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について、提案理由の説明を申し上げます。

子ども・子育て関連3法の児童福祉法の改正により、新制度の実地に向けた放課後児童健全育成事業の設備や運営などの基準を町条例で定める必要が生じたので、本条例を制定いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

なお、詳細につきましては子ども支援課長をして説明いたさせますので、よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 多田子ども支援課長。

〔多田哲夫子ども支援課長登壇〕

○多田哲夫子ども支援課長 議案第58号 呂楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例について、補足説明を申し上げます。

放課後児童健全育成事業におきましても、平成27年4月からスタートが予定されております子ど

も・子育て支援新制度におきまして、国が定めた基準に基づき設備や運営に関する基準を条例で定めることが義務づけられたものでございます。

この事業は、保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校に就学している児童に対し、授業の終了後や夏休み等長期休み期間中などに適切な遊びや生活の場を提供し、児童の健全育成を図るものでございます。

町内にあります学童保育所3カ所と町立児童館4館がこの事業の対象になるものでございます。これらの事業につきましてそれぞれ設備に関する基準、職員の配置基準、運営に関する基本事項などを定めるものでございます。

以上でございます。よろしくお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第58号 邑楽町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第58号は原案のとおり可決されました。

◎日程第13 議案第59号 邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例

○本間恵治議長 日程第13、議案第59号 邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第59号 邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

児童福祉法の一部を改正する法律及び難病の患者に対する医療等に関する法律が公布され、平成27年1月1日から施行されることに伴い、「小児慢性特定疾患治療研究事業の給付」が「小児慢性特定疾病医療費の支給」に、「群馬県特定疾患医療給付実施要綱による医療費の給付」が「難病の患者に対する医療等に関する法律による特定医療費の支給」に改められることにより、当該部分を引用している条文の改正の必要が生じたため本条例の一部を改正いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第59号 邑楽町福祉医療費の支給に関する条例の一部を改正する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第59号は原案のとおり可決されました。

◎日程第14 議案第60号 邑楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例

○本間恵治議長 日程第14、議案第60号 邑楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第60号 邑楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例について、提案理由の説明を申し上げます。

国民健康保険法の一部を改正する法律及び健康保険法施行令等の一部を改正する政令が施行されることに伴い、本条例の一部を改正いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

改正の主な内容は、出産育児一時金の金額39万円を40万4,000円に改め、国民健康保険法の改正

に伴い、条文の整理を行うものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第60号 邑楽町国民健康保険条例の一部を改正する条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第60号は原案のとおり可決されました。

◎日程第15 議案第61号 邑楽町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例

○本間恵治議長 日程第15、議案第61号 邑楽町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第61号 邑楽町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例について、提案理由の説明を申し上げます。

地域の自主性及び自立性を高めるための改革の推進を図るための関係法律の整備に関する法律が施行され、介護保険法の一部が改正されたことに伴い、従来厚生労働省令で定めていた地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を町条例において定める必要が生じたので、本条例を制定いたしたく、ご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

塩井早苗議員。

○1番 塩井早苗議員 ことしの4月から地域包括支援センターは健康福祉課内に来ました。介護保

険のことも、よりそこで連携がとれるような仕組みができたわけでございます。

今、一番地域包括支援センターに求められることは、今後変わる地域包括ケアシステム、その立て役者になっていくのであらうと思います。今は進行中ではありますが、ケアシステムの構築に向けて町が一体となってお努力されることをお願いいたします。

答弁は結構でございます。よろしくお願ひいたします。

○本間恵治議長 質疑ですので、本来は討論のところでお話してくださいね。

○1番 塩井早苗議員 失礼しました。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第61号 邑楽町地域包括支援センターの職員及び運営に関する基準を定める条例を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願ひます。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第61号は原案のとおり可決されました。

◎日程第16 議案第62号 指定管理者の指定について

○本間恵治議長 日程第16、議案第62号 指定管理者の指定について議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第62号 指定管理者の指定について、提案理由の説明を申し上げます。

邑楽町農畜産物処理加工施設の管理運営に当たり、平成27年4月1日から平成30年3月31日までの期間、邑楽町農畜産物処理加工施設利用組合を指定管理者として指定したいので、地方自治法第244条の2、第6項の規定によりご提案申し上げる次第であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 町長にお願いしたいのですが、また指定管理者の指定ということになるわけですが、これまで指定管理者としてあいあいセンターを運営されたわけですが、事業の内容と申しますか、成績を見ますと、余り芳しくないように見受けられるわけです。

今度管理者指定に当たって、町長のほうからいかに活性化するか、そういうことについて現在考えを持っているか、その辺まずお聞かせください。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 今までこの利用組合が実施、指定管理者としてお願いしてきたという経緯はありますが、そういう形の中では大変この地域の方々に貢献をしている部分もありますし、また農畜産物を生産する方々も、そのことによって張り合いを持って行っているのではないかと申します。

今後についてということではありますが、当然そういった地域の方、消費者の方々や生産の皆さん方のそういった状況を考えますと、やはりそれ相当の私は評価ができるのではないかと、そのように思っておりますので、今後も引き続き、いわゆる利用組合が少しでも前進するような考え方、これはいつも同じでもありますから、担当課を通しあるいはそれぞれの利用組合、出荷者組合の皆さんに今まで以上の活動ができるように、私のほうからも指導していきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 非常に寂しいことなのですけれども、このように最初は出なかったのですけれども、実績を私は出していただきました。皆さんの手元にもあるかと思うのですが、こういう中で、本当にじり貧の状態をいかに活性化してこれをふやすか。それには営業日数が、現在2日の部門と3日のがあると思うのですけれども、そのことについて、やはり多くの皆さんから評価、あるいは信頼を得るには毎日営業をやって、あそこに行けば用が足りる、安くて新鮮でおいしいのが食べられる。そういうことを考えたならば、毎日営業するのがいいかと思うのですけれども、その辺の指導についていかがでしょうか。

なぜならば、指定管理者を指定するわけですが、毎年減っていくようでは町としても困るわけです。前にもお話ししましたが、無償で貸与しているということもあります。ですから、相当町とすれば町長の責任は重いと思うわけですが、いかがでしょうか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 営業日を当初は土曜日、日曜日ということで行って来ました。その後水曜日ということに営業日をふやしたわけですが、当時と申しますか、なぜその土曜日、日曜日かということについては、恐らく町の商工業者の商業者ですか、やはり商業者の営業ということも十分考えていかななくてはならないというような形で、そのスタートがされてきたというふうに記憶しております。

しかし、それが、町の商業者の方との相談もそのようにあったようでありますから、営業日をふ

やすということになりますと、当然商工会の皆さんとも協議をしていく中で、やはり進めていく必要がまずあるだろうと。そういった上に立って、この利用組合のほうでその営業日がふやせるということであれば、やはりそこで働く方がおられますので、そういったことも十分理解を得た上で、営業日をふやすということについては今後考えていければと、このように思います。

○本間恵治議長 小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 それと、やはり品質の向上。例えば農産品については3日ですね、そういうことであると、あとの4日というのは直接農産品にかかわらないであいあいセンターを利用する、参加しているということだと思うのです。

農産品は、毎日毎日成長、大きくなってしまいうわけです。ですから、品質の向上等を考えた場合は、やはり毎日店を開く、それが大事かと思うのですけれども。特に邑楽町のあいあいセンターに行ったならば、すばらしい野菜が手に入れられるのだということはこの近郊の人たちにも十分認識していただく上で非常に大事な、町長が指導するということが大事なことだと思うのです。ぜひ実行していただきたいのですけれども、いかがでしょうか。

毎日毎日のやはり出荷、毎日毎日成長、大きくなるものですから、そのことについてどのようにお考えか、お聞かせください。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 十分検討して、そのような状況がつかれるように指導し、そして協議をしていきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第62号 指定管理者の指定について採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第62号は原案のとおり可決されました。

暫時休憩します。

〔午前11時00分 休憩〕

○本間恵治議長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

〔午後 1時15分 再開〕

◎日程第17 議案第63号 平成26年度邑楽町一般会計補正予算

○本間恵治議長 日程第17、議案第63号 平成26年度邑楽町一般会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第63号 平成26年度邑楽町一般会計補正予算（第5号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ9,273万6,000円を追加し、予算の総額を90億1,484万9,000円といたしたい次第であります。

歳入の主なものは、町税7,000万円、国庫支出金3,369万7,000円、県支出金1,233万2,000円及び寄附金365万円等を増額し、町債2,600万円等を減額するものであります。

歳出の主なものは、総務費1,183万1,000円、民生費4,174万6,000円、衛生費235万2,000円、農林水産業費1,018万2,000円、商工費103万4,000円及び教育費3,150万1,000円等を増額し、土木費537万円、消防費120万2,000円を減額するものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 47ページの中野小学校プールの改築事業費の設計料についてお尋ねをしたいと思います。

先日の全員協議会の中では、一応補助事業の対象にしていきたいというようなお話でございましたけれども、28日から現在まで日にちもたっておりますので、その後補助金が交付される可能性があるのかなのか、その辺の検討は県との調整をとったのか、その辺の確認をさせていただきたいと思います。

○本間恵治議長 大竹教育長。

○大竹喜代子教育長 お答えします。

直近では、11月に建築計画を提出してありまして、その後情報については集めておりますけれども、補助金について、可否につきましてはまだいただいておりません。

以上でございます。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 本来補助事業については、概算要求につきましては当然町から国のほうに申請をするわけでしょうけれども、それが終わったときには内示ということで国のほうから町に内示額が出てくると。そして、初めて本申請というのが補助事業の基本的な姿かなと思いますので、町の段階においてはどこまでこの手続が進行しているのか、その辺についてお尋ねをしたいと思います。

○本間恵治議長 大竹教育長。

○大竹喜代子教育長 お答えいたします。

なのはな園の状況とか、それから補助金の前倒しのこととかを鑑みまして、前年度に建築計画は出さなければならないということがありますので、補助金をもらえる願いを込めまして11月に提出したというところでございます。

以上でございます。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 それでは、町長にお尋ねしたいと思いますけれども、町長はかなりまめに補助金関係については動かれていた経緯があるのではなかろうかと。町長が議員の当時、保健センター建築のときには、たまたま担当職員が国の方向性がはっきりしていないと、そういう状況の中であっても、町長は議員の当時に県の窓口で直接電話をして確認をされております。それほど熱心に補助金に対してはやっております。

また、高島の北児童館についても、4月に課長が新任になってきたと。そのときにおいても、課長はまだ新任されてきたばかりなので、状況がわからなかったかなと思うのですが、それらについても町長はどうしたどうしたと、課長にさんざん聞いたような状況があるのかなと思われます。その結果、体調を崩して降格をされた職員もいると。そこまで熱心に町長は補助金に対してその行為を行っているものですから、この問題について補助金がもらえる可能性、これらについてお尋ねしたいと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 補助金申請というのは、その内規の中で該当するということであれば、先ほど教育長の答弁もありましたが、計画を申請するということはやはり必要だというふうに思っていますし、それからその申請をした後の補助金が受けられるかどうかということについては、やはり結果としてどうなるかわかりませんが、申請をした以上はやはり少しでも受けられるような努力はしなければいけないのかなと。今後もそういった努力はしていきたいと、このように思っています。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 先ほどもちょっと触れましたけれども、先月の28日に全員協議会がございました。それからきょうまでの日において、どのような県と交渉をされましたか、その辺についてお尋ねをしたいと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 その間は、特に県のほうとの折衝はしておりません。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 そうしますと、現在の時点では補助金がつくのか未定という解釈をせざるを得ないかなと。ただ、補助金がもらえるから、もらえる可能性があるからやる事業だというものではないのかなと私は思います。

なぜかといいますと、この新事業については当初予算の骨格から見ても、当然当初予算で対応するのが一番妥当だと。もらえるかももらえないかわからない、もらえるのならやりましょう、そういう曖昧な行為は余りにも好ましくないのかなと。

確かに、前回の全員協議会の中でも議員の意見を聞いていると、もらえるものならもらいなさいという考え方が多くあったかなと思いますけれども、基本的にそのもらえるものが、では先ほども聞きましたけれども、町長のほうから70%から80%可能性が有りますよという話であれば、そういうことについては進めていったのがいいかなと思いますけれども、今の町長の話をお聞きすると、その後折衝もしていないと。議員当時は結構まめにそういうことで動いていた方が、今回動かなかつたよということ、先が見えない状況であると思いますので、これらについては当初予算で本来ならば計上して行っていくべきではなかったのかなと思います。その辺について町長のご答弁をお願いします。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 過去のことについてはちょっと不鮮明ですので、今お願いしている予算について当初予算で組むべきではないかというお話ですが、当初計画の中でももちろん中野小学校プールは計画したいということを申し上げてきましたから、神谷議員が言われることも十分わかります。

ただ、全員協議会の中でもお話しいたしましたけれども、その補助金の内定が得られるような努力はまずしなければいけませんし、また国の補助に対しての状況がいろいろこう補正予算を組むというような前倒し的にあるという情報をつかんだ場合には、できるだけそういった補助金をいただく努力は私どものほうとしてはやっぱりしていくべきではないかなと、そういうふうに思っています。

それから、なぜ早くなってしまったかということについては、さきの全員協議会の中で副町長のほうから詳細にわたって申し上げましたので、そういうことでご理解をいただきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 この補助金は、今年度だけしかいただけないのでしょうか。それとも、次年度もいただける要素はあるのですか、その辺についてお尋ねします。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 申しわけありません、ちょっと細かい点について把握していませんので、ちょっと時間をいただいて……教育長のほうから答弁できますか。

申しわけありません、教育長のほうの答弁ということで、お許しをいただければお願いしたいと思います。

○本間恵治議長 大竹教育長。

○大竹喜代子教育長 お答えします。

平成28年度の事業については、まだ決定しておりませんので、お願いいたします。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 平成28年度のは決定されていないということですが、私が聞いているのは平成27年度の補助事業、今年度平成26年度で補正でいただくという考え方を持っているわけです。また、平成27年度になったときにも、この事業の補助金の対象になるのかと、その辺のお尋ねをしているのですが。

○本間恵治議長 堀井副町長。

○堀井 隆副町長 お答えいたします。

国の緊急対策で国のほうで補正予算を組むと、昨年度の例ですと設計してあったものを前倒した場合に補助金がつきました。今年度、平成26年度についても、そういった動きが若干あります。具体的に、前倒しできるかできないかと尋ねてきた省庁もありますので、国のほうは補正予算を組むのではないかなという想定のもとに今回はつくりました。

その緊急の補正予算については、昨年度は前倒したものについては全てつきました。一般で上げた長柄小学校のプールについては、耐震が優先されてプールにはつかなかったという経験をしておりますので、せっかくやっていたらもらえたものをもらえなくなってしまうというのは、もったいないかなと。できれば、少しでもいただきたいということで、今回提出させていただきました。

以上です。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 補助金を有効に使うということはよくわかるのですが、これらが平成27年度の中で対応できるのかできないのか、その辺の確認をしたいのですが。

○本間恵治議長 堀井副町長。

○堀井 隆副町長 補助金の要綱上は、平成27年度、平成28年度もできると思われま。

以上です。

○本間恵治議長 神谷長平議員。

○5番 神谷長平議員 そういうことになれば、当然こういう新事業については、平成27年度の当初予算に計上して行うべきではないかと。全員協議会のときにも設計期間が4カ月半かかるのだというような説明を受けましたけれども、それらを十二分勘案しても、平成27年度の中で対応できる期

間等も持てるわけですので、そういう補助金がもらえないということ、次年度についてはもらえないと、今回特別でやるのだと、そういう話であれば、これは筋が通る話かなと。次年度もあるということになれば、次年度の中で対応してもよろしいのではないかなと。当然この事業においても、2カ年の債務負担行為を起こした中で事業の対応を考えていますので、そういうことを踏まえた中では新年度が妥当かなと。

それと、実質これを補正で無理やり組んで設計に入っていくという前に、当然地域調査等があるわけでございます。実際施設も利用している方がおられるわけですから、その方たちにも若干不都合な面が出てくるのかなと。そういう状況もやはり加味した中で、町がある程度の期間を定めてその施設も貸したわけですから、借りた人に対してもその状況を、余りにも町のほうで競ったような状況を見せなくてもいいのではないかなろうかと。約束どおり決めた期間の中で対応していけるような状況でよろしいのではないかなと、そのように私は考えますけれども、こんなに無理やり急激に進める必要はないかなと。

今実際、設計で入っていても、次年度の工事の期間と並行される可能性が十二分にありますので。ですから、例えばそれ、今年度補正でやって、来年の7月までにプールが完成して、プール開きに間に合うのですよという話ならいいのですけれども、当然その期間には間に合わない状況ですので、そうなってきたときには、年度が1年ずれても影響がないのかなと、このように私は受けとめておりますけれども、その辺について町長はこういう決断をされましたけれども、これらについては私は余り好ましくないと。予算のときに、町長には私の意見を述べさせていただきましたけれども、あのときはたまたま公民館の検討委員の費用、これらをぽっと新年度の予算にのせたわけです。その内容を説明なしにのせてこられた状況があります。これらについても、議員のほうにももう少し具体的な説明も必要ではなかったのかなと。補助金のスタイル、それから状況も余りにも雑駁な説明過ぎて、判断がしづらい面が非常に多くあります。ですから、こういう提案の仕方は私とすればやめていただきたいと、そういう意味で私は反対の考え方を持っております。

以上です。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 私は、全員協議会のお話ししましたが、今国の政治情勢というか、そういうことを鑑みれば、やはり補正はできるだけ早く、中野小学校のプールというものはもう必要迫っているわけです、現実に。ですから、できるだけ早くその予定を組んで、補正予算で提案しながら国の援助を仰ぐ、それはいいことだと私は思います。

それで、先ほど来年度予算、あるいはその次の予算ということを考えれば、やはり町とすれば先を考えていろいろな事業、必要なものについて、さっき公民館ホールの件が出ましたけれども、必要ではないものはあえてそんなしなくても、私はいいと思っております。今回のプールについ

ては絶対に必要だと。今危険を感じながら、夏のプールの間、子供たちはあそこ、町道を横切ってやっているわけですから、これがないにしても実行すべきだと思うので、補正でこれは組んで、また次年度について国のほうへ、地方創生というかそういうことで一生懸命地方のための仕事を国もやると思うのです。景気浮揚ということがありますから。ですから、私は、それはそのときに、実際に必要な今回の事業ではなく、新たな、今後の呂楽町のためにはどういうことをやろうということで、次年度予算は大いに、また積極的に組んでいけばいいと思うので、今回の件については私個人とすると賛成です。

○本間恵治議長 今は質疑の時間です。あなたは何を質問しているのですか。

小沢泰治議員。

○10番 小沢泰治議員 そういうことで、私は今回の補正予算を組むということについては非常に前向きでいいと思っておりますので、町長は例えば今回はそうだと、その後についてはどのように考えているのか、先を考えた上で私はこれを出しているのだと思うのです。町長にお話をちょっと聞きたいです。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 予算というのは、やはりいろいろな事情の中で計画をしていくということになります。したがって、このお願いしている関係については、先ほど副町長のほうからも具体的にお話がありました。そういったことを十分考慮して、これからまさに申請をし、その補助金等が受けられるような努力をしていかなければいけないというふうに思っています。また、そうしていきたいと思っています。

将来的なことも当然視野に入れた中で計画をやっているわけですので、ぜひ議員の皆さん方の賢明なご理解をいただきまして、お認めをいただくようお願いをしたいと思います。よろしく願いいたします。

○本間恵治議長 ほかに質疑ありませんか。

田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 私も、この中野小学校のプール改築事業についてお尋ねをいたします。

本来であれば、この事業について、まず反対をなされる議員は、私は一人もいないと思っておりますし、もろ手を挙げて待ち望んでいた事業であります。気持ちよくこの事業を進めていただきたい、そんなふうにも思っておりますけれども、どうしてこの事業の話がここまでもつれてしまうのか。なぜ補正予算の中にこの568万円の委託費を入れなくてはならないのか、まずこの辺をきちんと総務教育常任委員会の中で担当が説明をしなくてはならない。

事の発端は、この説明がきちとなされなかった。委員長からもご指摘を受けていると、私は聞いております。担当課長は、委員長から指摘を受けて、その後常任委員の皆さんに補足説明をしに伺ったのですか、そういうことは一切していないのですか、まずそこからお聞きをいたします。

○本間恵治議長 神山学校教育課長。

○神山 均学校教育課長 お答えいたします。

前回の委員会の中で、私は大変申しわけありませんでした。全員協議会の前に、議長さんや委員さんに12月補正になった理由について、また委員さんにお話ししなかったことにつきましては、全員協議会で十分な説明をするようにというふうな意味合いで受けとめてしまいました。大変失礼いたしました。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 全員協議会の中ではなくて、まず自分の所属する常任委員会で常任委員の皆さんにきちんと説明をすると、当たり前の話でありますし、なぜ新年度の当初ではなくて、この補正の中に盛り込まなくてはならないかというのをまず常任委員会で理解をしていただき、当然のことです。その説明が全くできていないと聞いております。

私も、なのはな園の関係、補助金関係、全て副町長のほうから説明を受けております。一体どんな説明を常任委員会でしたのか、教えていただきたい。

○本間恵治議長 神山学校教育課長。

○神山 均学校教育課長 お答えをいたします。

本来であれば、なのはな園の関係、そして補正予算の関係をしっかり説明すべきことでございましたが、実はこの質問をいただいたときに、恥ずかしいお話でございますが、いろいろなことが頭の中を駆けめぐってしまいまして、頭の中が整理がつかなくなってしまうました。大変申しわけございませんでした。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 そういう話では説明がつかないのですよ。私は、全員協議会の中でも教育長に申しました。ことし一年間を振り返ってくださいと。こういう騒ぎを起こすのは、全て学校教育課ではないですかと、あなたのところですよ。最初の長柄幼稚園の仮園舎の一件から始まって、長柄幼稚園本体の工事の工期延長、これに絡む費用、大変な騒ぎが起きました。

そして、長柄小学校につけるプール、補助金が結果的には受けられなかった。補正で組むのだと、そんな話もありました。そして、長柄小学校のプールについては、議会の議決も得ていないのに、起工式はいつ行いますかと、そんな寝ぼけた話まで出てきたのです。そして、この最後の12月定例会、またこんな話ではないですか。しっかりしてくださいという話を私は全員協議会の中で教育長にお願いいたしました。この件については、教育長いかがですか。

○本間恵治議長 大竹教育長。

○大竹喜代子教育長 お答えします。

今お話のあったことは、全て私の責任というふうに捉えております。事前に説明できなかったということも、課としてきちっと煮詰めておくべきであったと思いますけれども、とにかくこの中野

小学校のプールに関しましては、一日も早く子供たちのためにプールをつくってあげたい。そこになのはな園が平成27年3月までの利用ということで、早期着工が可能になったという話が入り、そして当事者にもちょっとその点はお話ししました。

また、国の経済対策で補助金がもらえたらという、そういう3つの願いが重なりまして、この12月に皆様をお願いするということに至ったわけで、説明ができなかったということにつきましては深い反省をするとともに、この12月の議会でお認めいただければありがたいなというふうに思っているところでございます。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 まさしくそのとおりなのです。

ですから、今答弁なされたことを常任委員会の席で担当課長に説明をさせるのです。そうすれば、こういう騒ぎは起きない、私はそう思っています。事業そのものは大変ありがたい話ですし、早急に進めていただきたい。しからば、補正に組み込むには、こういう事情があるのです。こういう状況なので、ぜひここでこういう提案をさせていただきたい、常任委員会できちんと説明してくださいよ。こんな騒ぎにならないではないですか。

間もなく年も改まります。ぜひ来年はそういうことがないように、しっかりと教育委員会、学校教育課長並びに生涯学習課長も含めて、教育委員会の所管は頑張っていたいただきたいと思っています。

そこで、町長、町長のほうにはプールに附属する浄化機についてお伺いいたします。全員協議会の中で長柄小学校のプールは補助金がいただけなかったということで、当初予定をされていた浄化機を取り外しました。つけるのをやめたのですね。そして、中野小学校に関するプールについては、当然補助金を申請するには、附帯条件ですから、つけるのですよということで事業を進めていくわけです。そして、要望がかなって補助金がいただければ、当然のごとくプールに浄水器はつくわけです。つけなければ国を裏切る話になるし、国をだます話になりますから、補助金がいただければきちんとしたプールに浄水器がつきます。

そこで、私がお尋ねをしたのは、願いがかなわなくて補助金がいただけなかったというときには、どういう判断をなさるのですかとお伺いをいたしました。町長は、補助金がいただけなくても、中野小学校のプールについては浄水器はつけますというお話でした。まず、その思いは今でも変わっていないのかどうか、お聞きをしたいと思います。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 ご質問のあったとおり進めていきたいと、このように思います。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 ということは、長柄小学校のプールの浄水器はわざわざ計画にあったのに取り外しをした。でも、中野小学校の今から計画をするプールについては、補助金がいただけなくても設置をするということだと思えますけれども、9月のときにした判断は、補助金がいただけない

のだからつけないのだという判断です。今回は、わずか三月足らずのうちに、まるっきり正反対の判断をなさるわけです。その判断が、まず変わった理由をお聞かせをいただきたい。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 一つは、防災対策について、やはりきちっとした充実を図っていくということがあります。

なぜ長柄小学校を取りやめたかということについては、そのときのいろんな事情の中で、いただけないということが確定したということもあります。そういう上に立って、その浄水器については取りやめていこうということに判断したわけでもありますので、その数カ月の中でその判断といたしますか、変わったということについては、そのときは今申し上げたような事情で取りやめたと。

今回については、特にこの防災対策ということが中心になりますが、これはもらえるかももらえないかということもありますけれども、やはりそういうことを整備していくことが必要だという判断に立って、お答えをしたような次第でもあります。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 防災対策ということで浄水器だとすれば、何もプールにつけなくてもいいではないですか。どうしてプールに必要なのですか。プールでなくてはならないのですか。プールでなくてはならないというのは、補助金の関係なのですよ。補助金をいただくには、そうしなくてはならないのですよ。もっとわかりやすく言えば、3,000万円近い補助金をいただくために300万円近い浄水器をつけるのですよ。でも、認められなかったということは、300万円近い持ち出しをする必要がないという反論をなさったのでしょうか、9月のときには。だとすれば、中野小学校のプールについても、補助金がいただければ当然プールに浄水器はつくのです、附帯事業ですから。補助金がつかなかったら、浄水器はつけないのです。そして、防犯対策だというのだったら、安全安心課か何かに簡易浄水器でも何でも装備すればいいではないですか。どうしてプールにつけなくてはならないのですか。

プールにつけなくてはならないという理由は補助金絡みですよ。せっぱ詰まって本当に危機感を持って、プールに浄水器をつけるのだという思いがあれば、長柄小学校のプールの浄水器を外すはずがないのです。違いますか、理屈が通らないですよ。では、長柄小学校のプールの浄水器はどうするのですか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 長柄小学校のプールについても、全員協議会でもお話ししましたが、設置をしていきたいと、そのように考えています。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 だから、そういう判断が恥ずかしくないのですかということは何っているのです。9月ですよ、去年ではないです。ことしの9月に長柄小学校のプールについては補助金が

いただけないからということで、設置をしないと9月に決めたのです。私ではないですよ、町長が決めたのですよ。議員各位誰ひとり、その判断におかしいといって文句を言っている議員さんは、一人もいないのです。理解を示しているのです。理解を示されている判断をあなたが勝手に今度は変えるのですよ。おかしくないですか。そのときの判断でと、そんな話ではないのですよ。行き当たりばったりの判断ではないですか。そんないいかげんな町政運営は困るのですよ。

今言ったように、防災を考えて浄水器をとるのであれば、別に長柄小学校と同じ判断をして、補助金がいただければ中野小学校のプールについてもつけませんと。かわりに違う対応を考えていくと言ってもいいではないですか。

では、これから中野東小学校だとか、いろんな各場所のプールにみんなつけていくのですか。まず、必要だと考えられない、思えない。私に言わせれば一種無駄な装置を、そんなところに金を使うのだったら、まだ町の中にAEDをもっと普及させたり、防犯灯をいっぱいつけてあげたりしたほうが、私よっぽどいいと思いますけれども、いかがですか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 長柄小学校のプールに浄水器を設置するという考え方をお示しをしました。他の学校という話がありますが、それらについても、このいろいろ浄水器の中でも検討を加える必要があるのではないかというふうに思っておりますから、その段階でできるだけ設置がかなうものであれば設置していきたいというふうに思っておりますが、今後の検討の課題というふうにさせていただきたいと、このように思います。

長柄小学校のプールについては、設置をさせていただきたいと。後の予算編成の中で計上していきたいと、このように思っております。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 ということは、9月の判断が間違いだったと、改めたいと、そういうことですか。わずか三月もたたない前に、あなたがした判断は誤りだったのだと、そういう理解でよろしいのですか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 繰り返しになりますけれども、先ほどそのときの時点ではそのように判断をさせていただきました。これは、わずか三月ということもありますけれども、やはりその浄水器の必要性ということを特に考えていけば、やはりつけるべきだったかなというふうな判断もあったかもしれませんが、中野小学校について補助金がなくてもつけるということ、やはり先ほどお答えしたような考え方でありますので、したがって判断が誤っているか、誤っていないかということと言われれば、そのときの判断ということで考えてきましたので、まさに政治的に判断をさせていただいたという考え方でもあります。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 町長、判断が大きく変わるには、それなりの納得をさせる理由が必要なのです、本来。わずか三月足らずで大きく判断が変わるには、それなりの理由が必要です。

長柄小学校のプールにつけるはずの浄水器を取り外してから、この間そういう事態が起きたのですか、この町に。いや、この郡に、この県に。

例えば、国で今原発を盛んに廃止をしようという運動は、3.11が、あれがまさに原因です。それまではどんどん推進していこうという方向で国をはじめ向かっていったのですから。でも、あの惨状を見て、原発は恐ろしいと、これに依存しない方向で国というものはあるべきものだといって、一気に流れが変わって、今は原発は反対だということで判断が大きく変わったのです。だから、私は聞いているのです。

長柄小学校のプールの浄水器はつけないといった判断をしてから三月足らずの間に、何か判断を変えなくてはならない大きな事態があったのですかと。何も無いのに判断を変えるのはおかしいのですよ。ましてや、議会で大反対された判断ではないのです。理解をされていたのですよ。それを必要ないではないですか、なぜ変えるのですか。だから、真つ当な理由を説明してくださいよ。こういうわけだから変えるのだと、説明してください。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 あえて、強いて言えば、当時と今日の違いというのは、やはり防災上より充実をしていくことが必要であろうというふうに考えましたので、できるだけ有事の場合にそれに対応できるような状況をつくることは、私どものほうの仕事でもありますから、そういったことを踏まえて、考え方が変わったということで、強いて言わせていただくと防災上について、なお一層充実を図っていかなければならないと、そういう考え方です。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 だから、先ほども言っていますように、防災上という話をするのであれば、安易に私は教育施設を利用しないほうがいいと思います。安全安心課、まさに所管する課があるわけですから、そこに浄水器の管理、運用を任せてもいいわけではないですか。なぜ学校のプールでなくてはいけないのですか。

だから、それは町が研究を重ねてそういう判断をしたというのだとすれば、それはそれです。違うではないですか。補助金目当てにプールにつけるのだと。出どころはここなのですよ、違いますか。そうでしょう、補助金をもらうがために学校のプールに浄水器という話だったのです。だから、補助金がカットをされる、カットされるというか認められないという判断を下されるのと一緒に、一緒にいち早く必要ないというので切った事業ではないですか。今になって災害にというのは、こじつけです。本当に町の災害、そういう事態を想定してということを出た話ではないではないですか。今、一生懸命浄水器云々を災害に結びつけていますけれども、それは後から出たこじつけです。本当にそんな思いあるわけだったら、長柄小学校のプールの浄水器を取り外そうなど、予算が、補

助金がもらえなかったから、町の持ち出しでするのはやめようと、そんな判断はその時点でしないのです。

だから、私は言っているのです。非難をされるような判断をしたわけではないわけですから、9月のときが。中野小学校のプールについても、長柄小学校と同じ対応をしていきたいというほうが話がわかりやすいのです。それで、浄水器の話が出れば、それは別途研究しますということで、災害をとという思いが強いのであれば、安全安心課か何かに研究させればいいではないですか。そこに管理、運用を任せればいいではないですか。どうして学校の施設でなければならないのですか。違いますか。

それを安易に、私は、中野小学校にもつけるから、地元の議員に言われたから長柄小学校のプールにもつけると、そんな行き当たりばったりな返答をしないほうがいいと思っています。いかがですか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 なぜプールに浄水器かということについては、プールに水が貯水されているということがあると思います。災害が起こったときにインフラ、水道ですとかいろんな問題について、水を補給するということの課題も出てきますから、したがってプールに貯水されている水が、もちろん検査とかいろいろあると思います。安全か安心かという、浄水をしたから即ということにはならないと思いますけれども、そういったことがあるものですから、やはりプールに浄水器というふうな。特に、この問題については議員が言われましたように、この大震災があった以降、現地では特に水の問題について大きくクローズアップされて、なかなかこれが手に入ってこなかったというようなことが国のほうでもありましたから、その浄水器については優先的という話もあったようでもありますけれども、浄水器の設置を国のほうから、つければ認める、認めないということになったのだろうというふうに思います。

いずれにいたしましても、やはり水ということでありますから、管理は教育委員会のほうで管理していますけれども、有事になった場合にはそれは議員が言われるように安全安心課、あるいはほかの課一致協力して、その補給をするようにしていかなければならないと。管理については教育委員会ですが、運用についてはそういったことにもなるだろうと、このように思います。

○本間恵治議長 田部井健二議員。

○9番 田部井健二議員 子供ではないですから、有事になったら一致協力して、当たり前ではないですか、そんなのは。平時ではないのですよ。有事になったら一致協力してなんていうのは、当たり前なのです、そんな話は。想定を頭に思い描いてください。

国は、大きな物差しではかるから、新たにつくるプールについてはそういったことで浄水器をつけましょうという話をしているでしょう。でも、この邑楽町、この地形、この環境、本当に必要だと思いませんか。この町にそういう事態が起きたときに、本当に水が来なくて困ると、そんな想定

がされますか。東西南北どこからでも来ますよ。私は、そこまでの必要はないと思っています。

ですから、一番最初に長柄小学校のプールについて補助金をいただく条件としてつけるのであれば、これは仕方がないと。300万円の浄水器をつける、そのかわりに3,000万円近いお金がもらえるのだからいいのではないかという判断をしたわけです。私はそれを否定をしていません。そういった判断もありかなと思っています。まして、その補助金がいただけなかった。だから、自前での浄水器の設置は取りやめたのだという判断も私は否定をしていないのです。ということは、中野小学校のプールについても、同じ判断をすべきだという話をしているのですよ。

そして、災害云々で浄水器ということがあなたの心に、気持ちにあるのであれば、それはそれとして検討をすればよろしいのではないですかというお話をしているのです。どうしてもプールですか、どうしてもやめたわけのプールにつけるのですか。プールに浄水器をつけて、そして水がきれいになって、子供たちが泳ぐのに環境がよくなるという話であれば、私は大賛成です。関係ないですから。子供がプールを使うのに浄水器がついていようとついてまいと、子供が使用するプールについての使い勝手には一切関係がありません。千代田町みたいに温水プールにしてやるのだとか、いつでもボタン一つで水温を調整してやれる装置をつけてあげるのだとかという話であれば、これはまた別です。浄水器はつけてもつけなくても、子供が利用するのに何ら必要性は感じられない設備です。もう一度、お考えを改めたほうがよろしいということをお申し上げます。どうですか。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 議員のご意見は貴重なご意見として承っておりますが、先ほどお答えしたような形で今後進めていきたいというふうに思っておりますので、ご理解をいただきたいと思っております。

○本間恵治議長 暫時休憩します。

〔午後 2時06分 休憩〕

○本間恵治議長 休憩前に引き続き会議を再開いたします。

〔午後 2時40分 再開〕

○本間恵治議長 堀井副町長。

○堀井 隆副町長 先ほどのプールの浄水器につきまして、混乱を来してしまいまして申しわけありません。私のほうから少し整理して補足説明をさせていただきます。

中野小学校プールについては、補助金の関係もありますから現計画でお認めいただき、長柄小学校ほかのプール、あるいは浄水器につきましては、今後安全安心課、あるいは学校教育等とも含めまして、備品倉庫を含めまして、食料、水、あるいは毛布等も必要になりますので、そういったものも含めまして、防災の対策上そういったものを今後検討して、できましたら議員さんにお示しをして、その上で整備をしていきたいというふうに考えております。よろしくお願ひいたします。

○本間恵治議長 金子町長。

○金子正一町長 一言、議長をはじめ議員の皆さん方に申し上げたいと思います。

この中野小学校プールの補正予算の計上に当たりまして、当初から常任委員会のほうにも十分な説明が行き届かなく、そして本日のこの議会提案という形になったわけではありますが、その間、本当に議長をはじめ議員の皆さん方に本当にご迷惑をおかけいたしました。

今後は、先ほど副町長が申し上げたような形も含めて、十分慎重に進めていきたいというふうを考えておりますので、大変ご迷惑をおかけいたしました。ぜひご理解をいただきたく、よろしくお願いを申し上げたいと思います。大変申しわけありません。

○本間恵治議長 よろしいですか。

ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

神谷長平議員。

〔5番 神谷長平議員登壇〕

○5番 神谷長平議員 5番、神谷長平です。反対討論をしたいと思います。

議案第63号 平成26年度呂楽町一般会計補正予算について、反対討論を申し上げます。条件つきでしたいと思いますけれども、第10款教育費、2項小学校費、3目学校建設費、13節の委託料についてですけれども、これらは補助金の対象ということで提案をされてきたわけですけれども、これらの補助金の予算の期限が、今年度だけではなくて次年度、その先にも続く、そういう説明等がございました。

それと、今年度の補助金は何%ぐらいつく可能性がある、これらについても未定ということでございますので、2年またぎでこの計画を進めても、実際、今年度補正で認めていったとしても3カ月で、暮れの休みと正月がありますと約2カ月半ぐらい。そうしますと、新年度に約2カ月ぐらい食い込むかなと。そうなれば、新年度で当初一括で調査、計画をして、実施に入っても支障はないのかなと、そういう状況の中で物を考えますと、どうしてもこの補正で対応するということについては反対といたします。

以上、私の反対討論とします。

○本間恵治議長 ほかに討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第63号 平成26年度邑楽町一般会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立多数〕

○本間恵治議長 起立多数。

よって、議案第63号は原案のとおり可決されました。

◎日程第18 議案第64号 平成26年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算

○本間恵治議長 日程第18、議案第64号 平成26年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第64号 平成26年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ1億7,848万6,000円を追加し、予算の総額を32億6,480万円といたしたい次第であります。

歳入については、前期高齢者交付金及び繰入金を増額であり、歳出については総務費、保険給付費及び諸支出金を増額するものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第64号 平成26年度邑楽町国民健康保険特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第64号は原案のとおり可決されました。

◎日程第19 議案第65号 平成26年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正
予算

○本間恵治議長 日程第19、議案第65号 平成26年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第65号 平成26年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ25万7,000円を追加し、予算の総額を2億2,219万5,000円といたしたい次第であります。

歳入については諸収入の増額であり、歳出については諸支出金の増額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第65号 平成26年度邑楽町後期高齢者医療特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第65号は原案のとおり可決されました。

◎日程第20 議案第66号 平成26年度邑楽町介護保険特別会計補正予算

○本間恵治議長 日程第20、議案第66号 平成26年度邑楽町介護保険特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第66号 平成26年度呂楽町介護保険特別会計補正予算（第2号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ96万4,000円を追加し、予算の総額を18億1,517万6,000円といたしたい次第であります。

歳入については、県支出金及び繰入金の増額であり、歳出については総務費の増額と保険給付費内で実績に合わせた組み替えを行うものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第66号 平成26年度呂楽町介護保険特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第66号は原案のとおり可決されました。

◎日程第21 議案第67号 平成26年度呂楽町下水道事業特別会計補正予算

○本間恵治議長 日程第21、議案第67号 平成26年度呂楽町下水道事業特別会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第67号 平成26年度呂楽町下水道事業特別会計補正予算（第2号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、既定の歳入歳出予算の総額から歳入歳出それぞれ30万8,000円を減額し、予算の総額を3億1,764万1,000円といたしたい次第であります。

歳入については、繰入金の減額であり、歳出については下水道費を減額するものであります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第67号 平成26年度邑楽町下水道事業特別会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第67号は原案のとおり可決されました。

◎日程第22 議案第68号 平成26年度邑楽町水道事業会計補正予算

○本間恵治議長 日程第22、議案第68号 平成26年度邑楽町水道事業会計補正予算を議題とします。

町長から提案理由の説明を求めます。

金子町長。

〔金子正一町長登壇〕

○金子正一町長 議案第68号 平成26年度邑楽町水道事業会計補正予算（第2号）について、提案理由の説明を申し上げます。

今回の補正は、収益的収入及び支出において、支出額11万7,000円を増額するものであります。

また、資本的収入及び支出においては、支出額190万6,000円を増額するものであります。

収益的支出の主なものは、営業費用の増額であり、資本的収入及び支出については建設改良費の増額であります。

よろしくご審議の上、ご決定賜りますようお願い申し上げます。

○本間恵治議長 これより質疑に入ります。質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 質疑なしと認めます。

これにて質疑を終結します。

これより討論に入ります。討論ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○本間恵治議長 討論なしと認めます。

これにて討論を終結します。

これより議案第68号 平成26年度邑楽町水道事業会計補正予算を採決します。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

〔起立全員〕

○本間恵治議長 起立全員。

よって、議案第68号は原案のとおり可決されました。

◎散会の宣告

○本間恵治議長 以上で本日の日程は終了しました。

あす9日は午前10時から会議を開き、一般質問を行います。

本日はこれにて散会いたします。

お疲れさまでした。

〔午後 2時55分 散会〕